

気候変動対策で3度目の最高評価

—CDP 2019 Climate Change で2年連続のAリストに認定—

戸田建設(株)(社長:今井 雅則)は、環境評価を行う国際的な非営利団体 CDP(本部:ロンドン)から、「CDP 気候変動Aリスト」に選定され、気候変動に対する活動において世界的に優秀な企業として評価を受けました。2018年、2019年と2年連続のAリスト認定となります。

【CDP 気候変動Aリスト認定について】

CDPは、世界の上場企業を対象に気候変動対策に関する取り組みを調査し、その情報を評価・開示しています。環境対策を重視する世界の機関投資家は、投資先企業の選定の際に、その結果を重要視しています。

2019年度は、世界で179社、日本では当社を含む38社が気候変動Aリストに認定されました。日本では1月20日(月)に大手町フィナンシャルシティにて、「2019年度CDP気候変動スコアリリース・日本報告会」(CDPジャパン事務局主催)が行われ、当社からは取締役専務執行役員 戸田 守道が出席し、認定への感謝を述べました。

【戸田建設の気候変動への取り組みについて】

当社は、2010年にゼネコンで初めて環境省からエコ・ファースト企業^{※1}として認定されました。CO₂排出量の削減については、1990年比で80%削減する「2050年目標」を定め、それを環境大臣に約束し日々取り組んでいます。その達成状況は定期的に環境大臣へ報告しています。2019年からは、エコ・ファースト推進協議会の議長を務め、協議会の活発な運営を支え、わが国が気候変動に関して国際的にコミットする数値目標達成をサポートしています。

2017年8月には、当社のCO₂排出量削減目標が日本の建設業界で初めてSBT^{※2}認定を取得しました。さらに2019年1月には、RE100イニシアチブ^{※3}へ加盟し、自社の事業活動で使用する電力を、2050年までに100%再生可能エネルギー電力とすることを宣言し、弊社の建設作業所を含めた全事業所での再エネ電力調達を推進しています。

また、当社は持続可能な社会の構築に向けて、再生可能エネルギーの事業化に取り組んでいます。その中の最も代表的な取り組みとしては、長崎県五島列島で国内初の商用運転を行っている浮体式洋上風力発電のプロジェクトがあります。

今回の評価を受け、今後も当社の独自性のある環境技術、ノウハウを生かし、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

※1 エコ・ファースト企業：環境大臣に対して企業が自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度

※2 SBT：企業のCO₂排出削減目標設定が、パリ協定に合致する目標として評価された証

※3 RE100イニシアチブ：事業運営で使用する電力を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が参加する国際企業イニシアチブ

【CDPについて】

CDPは、環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家や主要購買企業の要請に基づき、企業や自治体に、気候変動対策、水資源保護、森林保全などの環境問題対策に関して情報開示を求め、また、それを通じてその対策を促すことを主たる活動としている非営利組織です。2019年度は、運用資産規模で96兆米ドルに達する525

強の機関投資家と購買力規模で3.6兆米ドルに達する125の購買企業がCDPの活動に賛同し、世界の時価総額50%強となる8,400強の企業と世界各地の920強の自治体がCDPを通じて環境問題対策に関する情報開示を行いました。CDPは、現在、環境問題に関して世界で最も有益な情報を提供する情報開示プラットフォームの一つとなっています。また、CDPはWe Mean Business連合の創設メンバーです。詳しくは、次のWebサイトを参照ください。<https://cdp.net/en>

